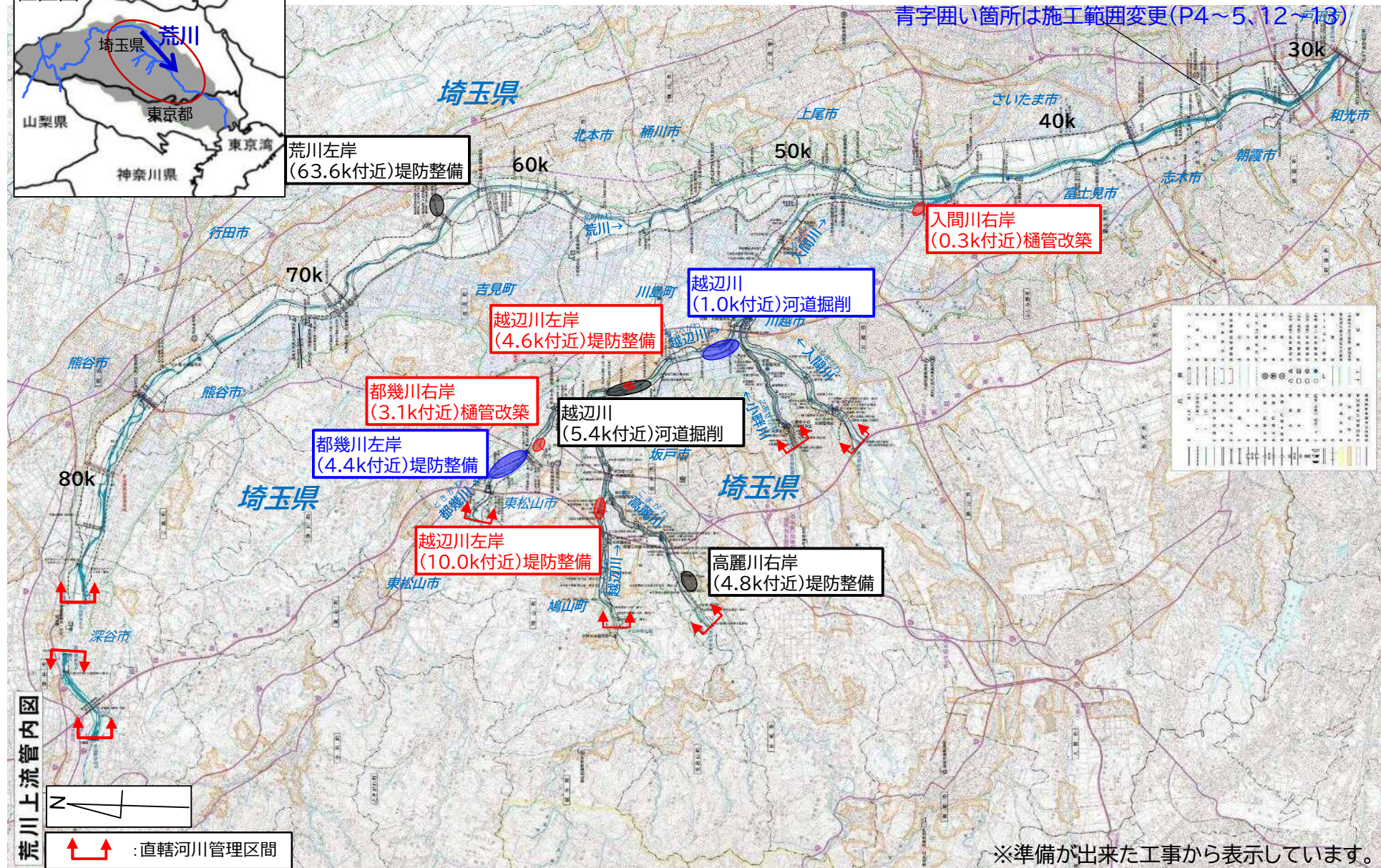


令和3年度 荒川上流管内 工事箇所 位置図

令和4年1月現在

赤字囲い4箇所について今回追加(P14~21)

青字囲い箇所は施工範囲変更(P4~5、12~13)



令和3年度 荒川上流管内 工事箇所一覧

地区名	整備内容	場所	変更履歴
東松山市下青鳥地区	堤防整備	都幾川左岸 4.4k付近	工事範囲変更
坂戸市赤尾地区	河道掘削	越辺川5.4k付近	
鴻巣市糠田地区	堤防整備	荒川左岸63.6k付近	
坂戸市鶴舞地区	堤防整備	高麗川右岸4.8k付近	
坂戸市紺屋地区	河道掘削	越辺川右岸1.0k付近	工事範囲変更
東松山市田木地区	堤防整備	越辺川左岸10.0k付近	新規追加
川島町八幡地区	堤防整備	越辺川左岸4.6k付近	新規追加
東松山市万世樋管改築	樋管改築	都幾川右岸3.1k付近	新規追加
川越市古谷樋管改築	樋管改築	入間川右岸0.3k付近	新規追加

～工事における環境への配慮～

荒川上流河川事務所では、工事実施に伴い、現地の状況に応じた、下記のような環境配慮を行ってまいります。

1. 河川が本来有している生物の良好な生育・生息環境に配慮した設計を実施
2. 施工は、低振動・低騒音などの施工機械を使用
3. 特に配慮する必要がある生物(環境省レッドリスト記載の動植物などの希少種)が確認された場合は、生育・生息状況を踏まえ対応を検討※
4. 工事施工範囲外でも、周辺に希少種情報等がある場合は、工事施工時に踏み荒らし等しないよう、施工者と情報を共有
5. その他、多様な生物が生育・生息できる場の創出が期待できるように可能な範囲で工夫 など

※本資料においては、種の保護の観点から環境省レッドリストに記載され希少性の高い種は、種名が特定されないようにするため“希少種”として記載しています。

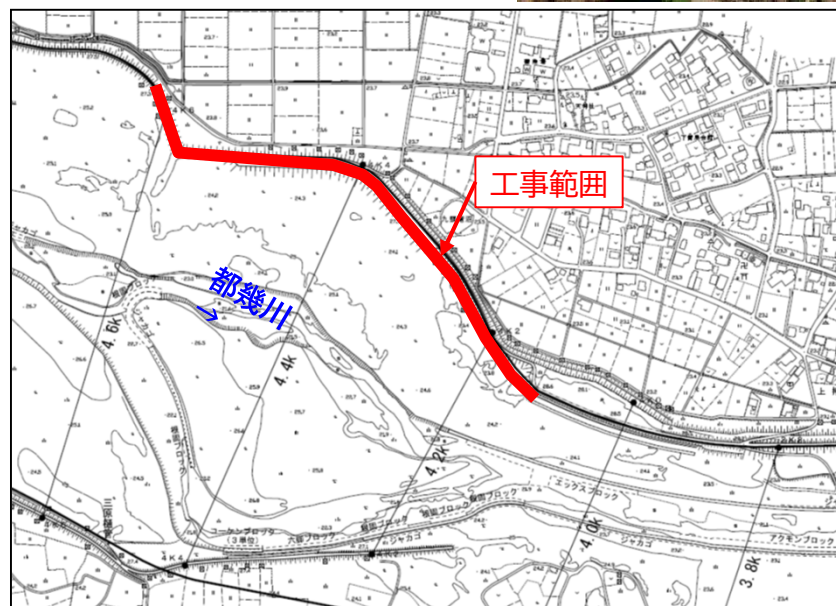
東松山市下青鳥地区堤防整備(都幾川左岸 4.4k付近:東松山市下青鳥地先)【工事概要】

斜め写真

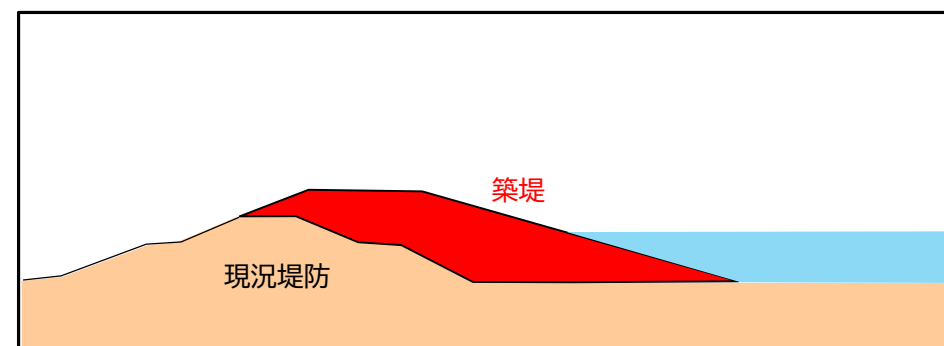


○着手予定:令和3年9月頃
○完了予定:令和4年1月頃

平面図



標準断面図

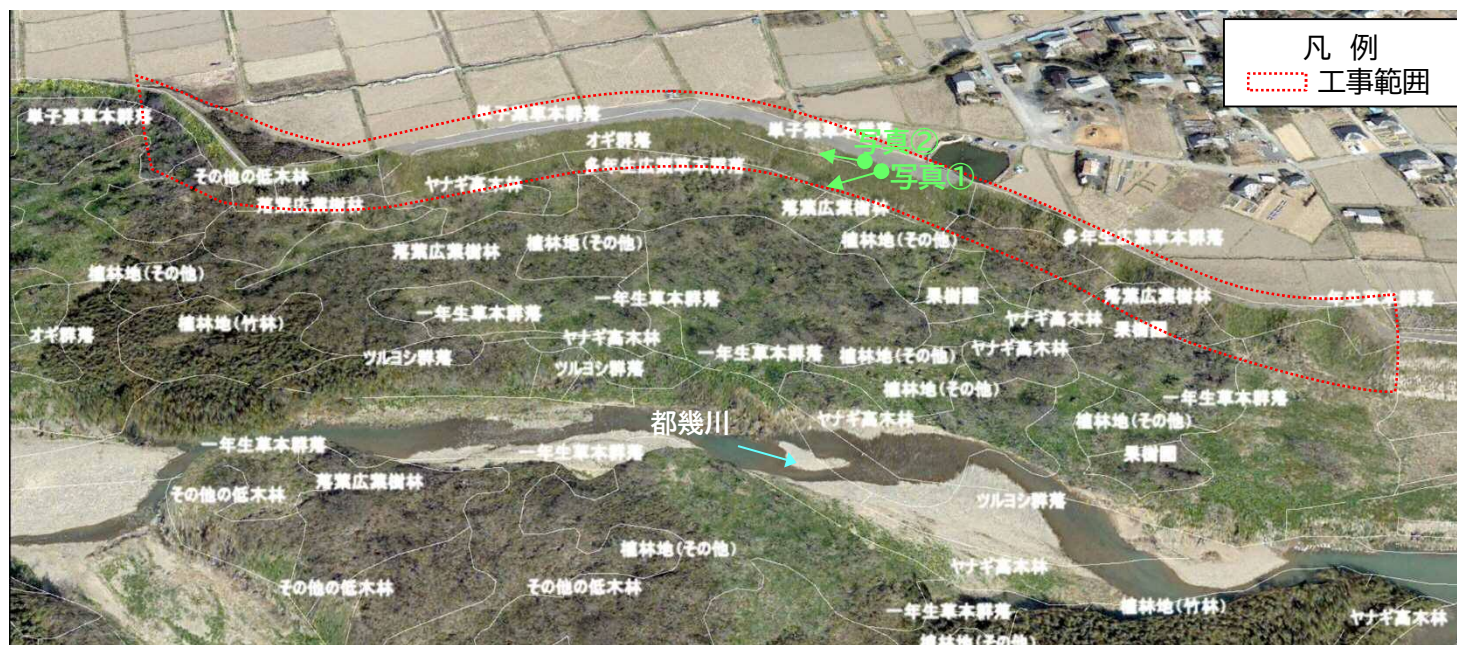


工事の目的

- ・堤防の高さと幅が不足する区間において、堤防整備を実施。

※現時点の情報であり、今後現地の状況等により変更の可能性があります。

東松山市下青鳥地区堤防整備(都幾川左岸 4.4k付近:東松山市下青鳥地先)【環境】



河川環境情報データベース(<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>)の植生図データより作成。植生区分は植物群落リストの植生基本分類に基づき区分。



写真① 堤防に隣接する河畔林



写真② 堤防天端と河畔林

主な環境

- ・調査範囲内は主に樹林地と堤防で構成されている。
- ・樹林地は主にクヌギやアカメヤナギが優占する落葉広葉樹林であり、ゴマキが確認されている。樹林地の林床は明るく、ショカツサイ、アケビ、ヤエムグラなどの草花が生育する。
- ・堤防はチガヤが優占する単子葉草本群落でヤブカンゾウ、ヨモギ、スギナ、カラシナなどが生育しているほか、希少植物も確認されている。アゲハやヒメナガメなどの昆虫類も確認されている。
- ・堤内地側には、水田や畑が広がり、堤防民地側の堤防のり尻部分には希少植物も確認されている。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施。
- ・堤防敷のゴマキについては、工事に伴い、必要以上に伐採等しないよう留意する。
- ・工事施工範囲周辺では、堤防民地側で生息を確認した希少種情報についても、工事施工時に踏み荒らし等しないよう施工業者と情報を共有する。

※現時点の情報であり、今後現地の状況等により変更の可能性があります。

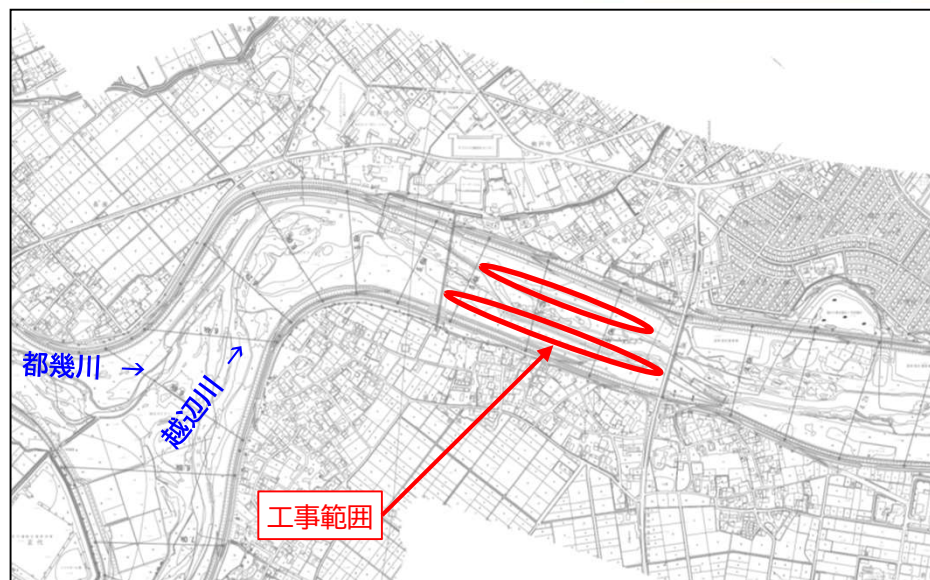
坂戸市赤尾地区河道掘削(越辺川5.4k付近:坂戸市赤尾地先)【工事概要】

斜め写真

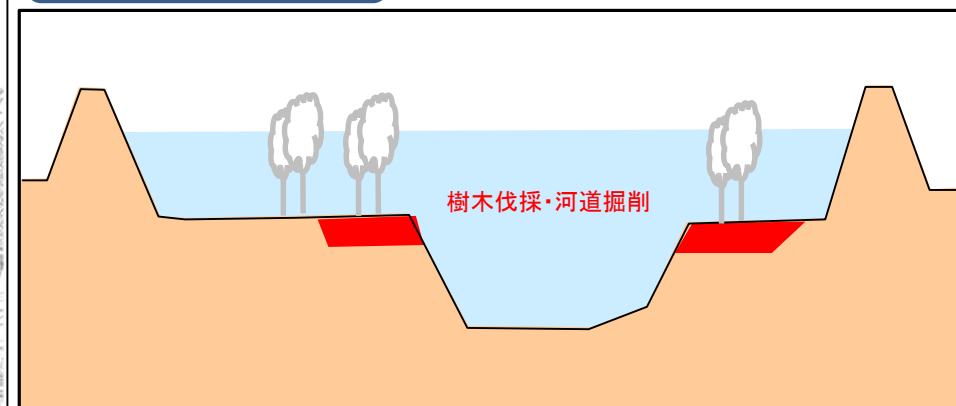


○着手予定:令和3年6月頃
○完了予定:令和4年1月頃

平面図



標準断面図



工事の考え方

・流下能力向上を目的に、樹木伐採・河道掘削を実施。

※現時点の情報であり、今後現地の状況等により変更の可能性があります。

坂戸市赤尾地区河道掘削(越辺川5.4k付近:坂戸市赤尾地先)【環境】



河川環境情報データベース(<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>)の植生図データより作成。植生区分は植物群落リストの植生基本分類に基づき区分。



写真① 天神橋上空より上流方向全景



写真② 上流上空より下流方向全景

主な環境

- ・調査範囲内は、主に樹林地と草地、堤防を中心に構成されている。
- ・樹林地は主にアカメヤナギが優占する落葉広葉樹林やマダケ林などの竹林があり、ミコシガヤや希少植物、キツネなどの哺乳類、チョウトンボといった昆虫類が確認されている。
- ・草地は高水敷のオギ群落や堤防のセイバンモロコシ群落、採草地となっている人工草地で構成され、人工草地は夏期にアレチウリの繁茂がみられる。動物はホオジロやアオダイショウ、キツネ、ヒメナガメなどが確認されている。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施。
- ・高水敷に広がるアレチウリ群落などの外来植物群落は、地盤を切り下げることで、冠水頻度が上がり、多様な動植物が生息する場となることを期待する。

※現時点の情報であり、今後現地の状況等により変更の可能性があります。

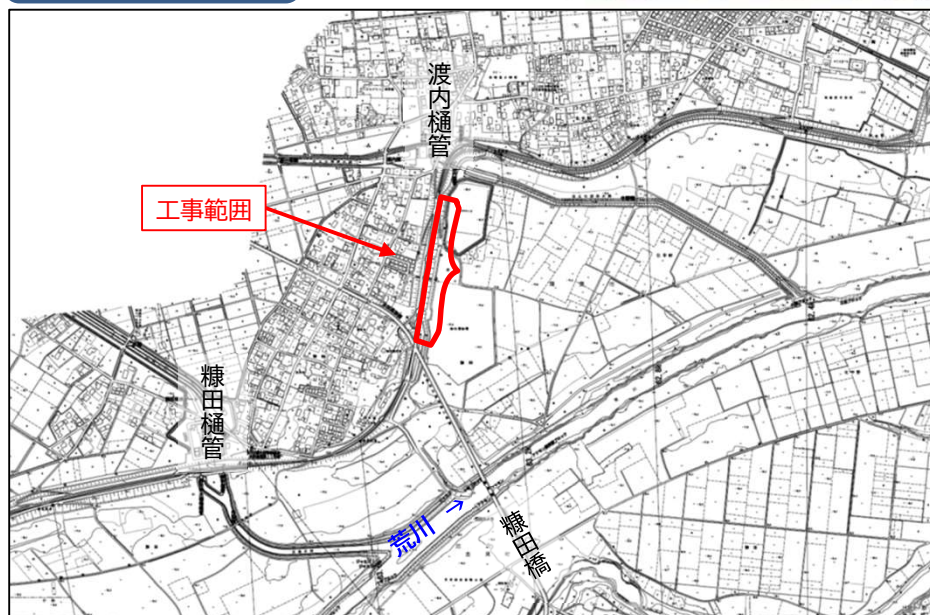
鴻巣市糠田地区堤防整備(荒川左岸63.6k付近:鴻巣市糠田地先)【工事概要】

斜め写真

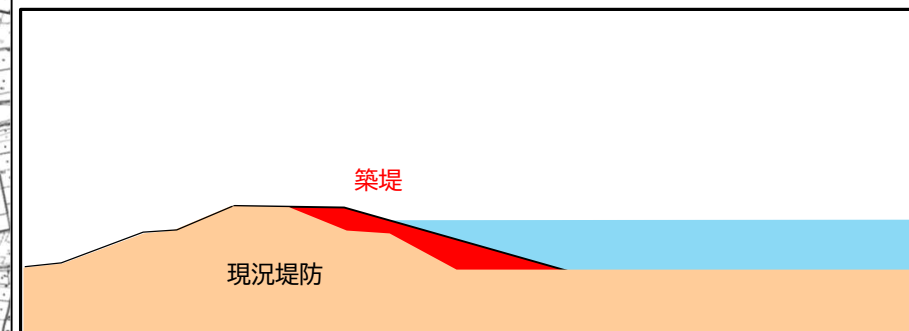


○着手予定:令和3年9月頃
○完了予定:令和4年1月頃

平面図



標準断面図



工事内容

・堤防の高さと幅が不足する区間において、堤防整備を実施。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。

鴻巣市糠田地区堤防整備(荒川左岸63.6k付近:鴻巣市糠田地先)【環境】



河川環境情報データベース(<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>)の植生図データより作成。植生区分は植物群落リストの植生基本分類に基づき区分。



写真① 堤防の下流端より全景



写真② 堤防の上流端より全景

主な環境

- ・調査範囲内は、主に草地とグラウンドで構成されている。
- ・草地は主にチガヤ、ヨモギなどの在来種が生育するチガヤ群落、セイタカアワダチソウなどの外来種が生育する草本群落が広がり、ヤブカンゾウなどの在来植物、ベニシジミやアオスジアゲハなどの昆虫類も生息している。
- ・高水敷にはグラウンドが広がり、動物ではタヌキやニホンカナヘビ、ニホンアマガエルなどの小動物、ヒバリやセッカなどの鳥類が生息している。
- ・高水敷の道路沿いの溝にはイヌスギナなどの希少植物も確認されている。

環境配慮事項

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施。
- ・堤防は外来種のセイバンモロコシなどの侵入がみられ、再繁茂防止も含め本工事で表土の盛土材活用は行わない。
- ・工事施工範囲周辺では、堤外地の溝で確認された希少種情報についても、工事施工時に踏み荒らし等しないよう施工業者と情報を共有する。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。

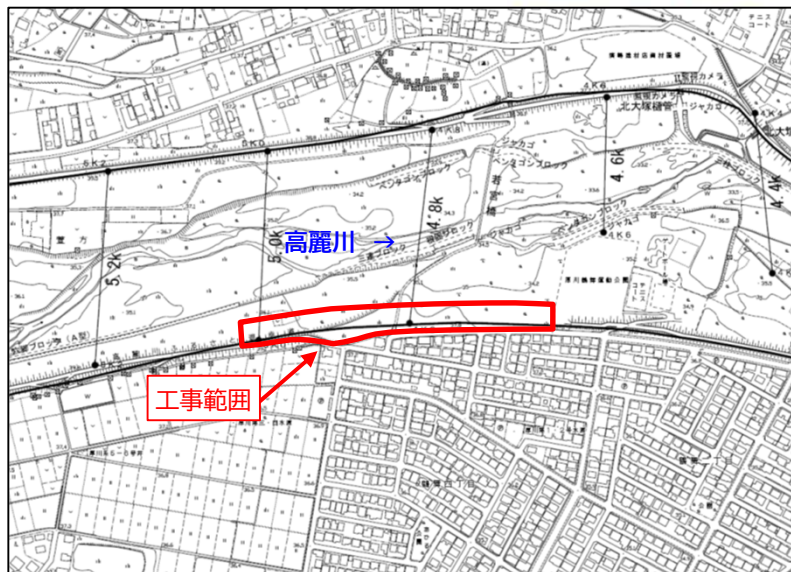
坂戸市鶴舞地区堤防整備(高麗川右岸4.8k付近:坂戸市鶴舞地先)【工事概要】

斜め写真

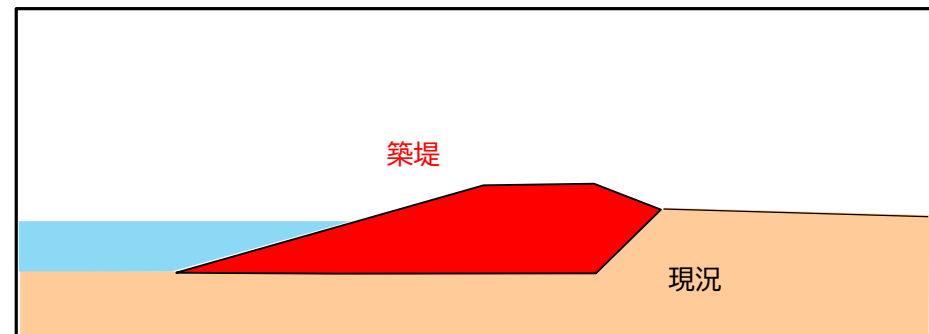


○着手予定:令和3年9月頃
○完了予定:令和4年1月頃

平面図



標準断面図



工事内容

- ・堤防の高さと幅が不足する区間において、堤防整備を実施する。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。

坂戸市鶴舞地区堤防整備(高麗川右岸4.8k付近:坂戸市鶴舞地先)【環境】



河川環境情報データベース(<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>)の植生図データより作成。植生区分は植物群落リストの植生基本分類に基づき区分。



写真① 下流端より上流方向全景



写真② 上流端より下流方向全景

主な環境

- ・調査範囲内は、主に樹林地、グラウンド、竹林、果樹園、堤防で構成されている。
- ・樹林地は主に落葉広葉樹のムクノキ-エノキ群落で構成される。
- ・堤防にはネズミギ群落やヤブカンゾウ、ヨモギなどの在来種で構成される草本群落がある。草本群落では、ウマノスズクサ、センニンソウなどの在来植物が生育しているほか、ノウサギ、シマヘビ、ニホンアマガエルなどの小動物、ホオジロ、ウグイスなどの鳥類、ベニシジミやヒメナガメなどの昆虫類が確認されている。

環境配慮事項

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施。
- ・ヤブカンゾウなどの在来種が生育する表土を保管。保管した表土を堤防前面の高水敷に敷均し、在来種が生育する群落の維持に努める。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。

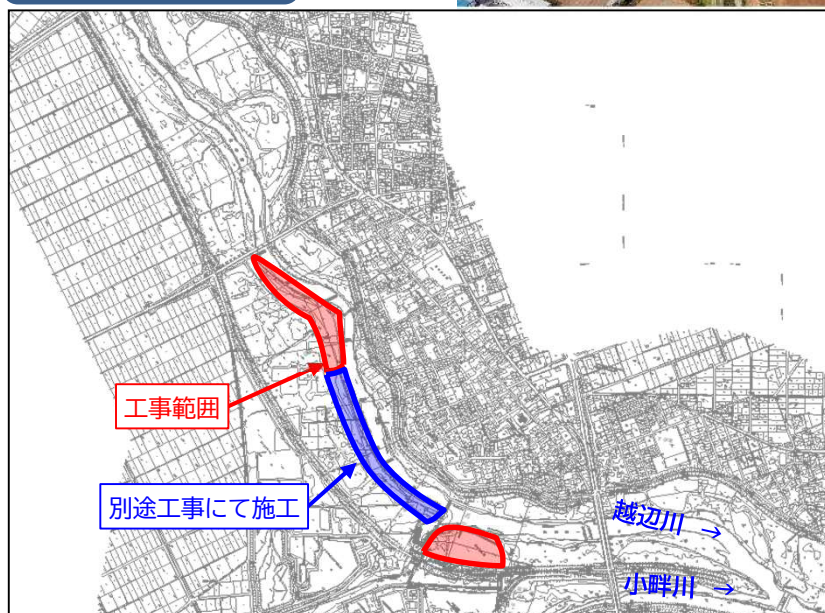
坂戸市紺屋地区河道掘削(越辺川右岸1.0k付近:坂戸市紺屋地先)【工事概要】

斜め写真

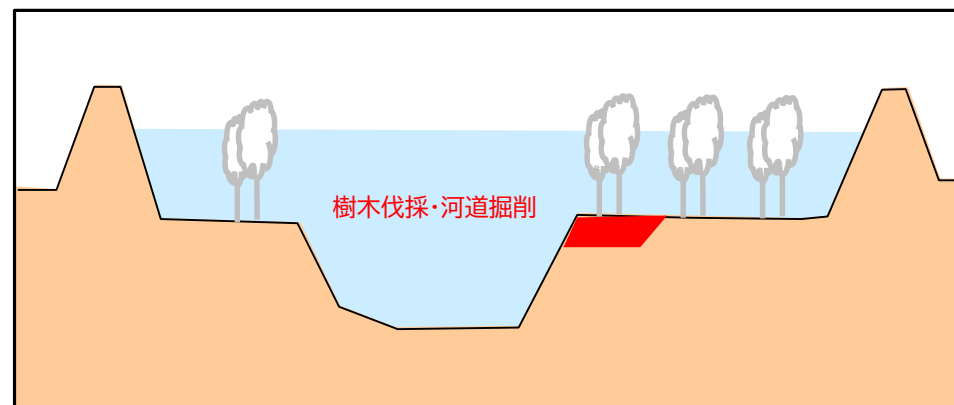


○着手予定:令和3年6月頃
○完了予定:令和4年3月頃

平面図



標準断面図



工事の考え方

・流下能力向上を目的に、樹木伐採・河道掘削を実施。 ※本地区は当該工事後も継続して掘削を予定しています。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。

坂戸市紺屋地区河道掘削(越辺川右岸1.0k付近:坂戸市紺屋地先)【環境】



河川環境情報データベース(<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>)の植生図データより作成。植生区分は植物群落リストの植生基本分類に基づき区分。



写真① 道場橋より下流方向全景



写真② 越辺川右岸0.8k付近

主な環境

- ・調査範囲内は、主に樹林地、草地、畑地で構成されている。
- ・樹林地は主にアカメヤナギやクヌギが優占する落葉広葉樹林やマダケ林があり、林縁部にウマスゲやゴマキ、希少植物などが確認されている。動物ではホオジロ、ウグイス、希少鳥類などが確認されている。
- ・草地は主にオギ群落やカナムグラ群落、外来種で構成されるネズミムギ群落、人工草地で構成される。人工草地ではアレチウリの繁茂も見られる。動物ではヒメナガメ、ヒガシキリギリスなどの昆虫類が確認されている。
- ・水際部ではミコシガヤや希少植物、ハグロトンボやカワセミなどが確認されている。

環境配慮事項

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施。
- ・高水敷に広がるアレチウリ群落などの外来植物群落は、地盤を切り下げること、冠水頻度が上がり、多様な動植物が生息する場となることを期待する。
- ・掘削範囲周辺に生育・生息する希少種情報についても、工事施工時に踏み荒らし等しないよう施工業者と情報を共有する。希少鳥類については、生息状況を踏まえ対応を検討。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。

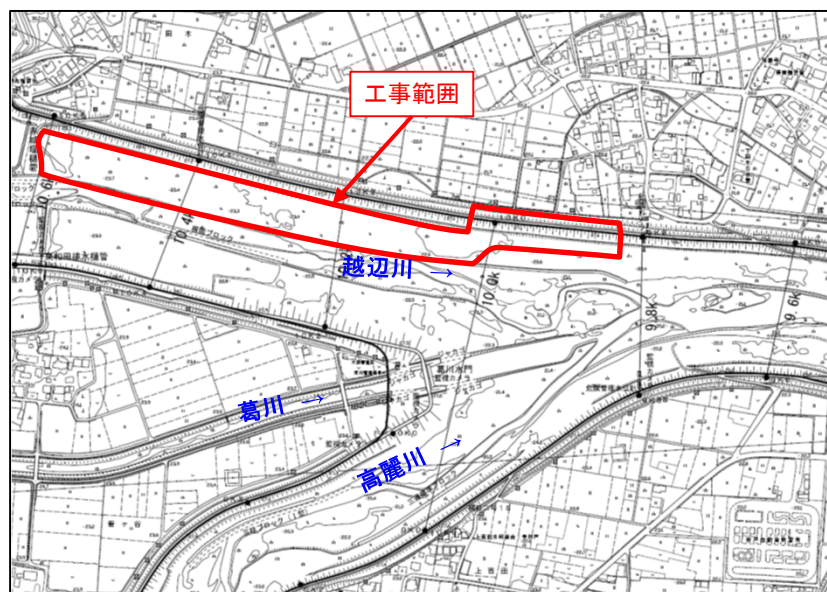
東松山市田木地区堤防整備(越辺川左岸10.0k付近:東松山市田木地先)【工事概要】

斜め写真

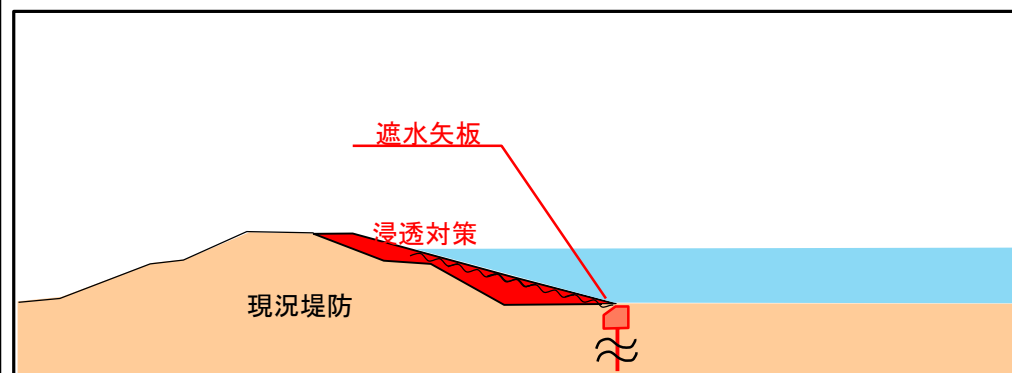


○着手予定:令和3年6月頃
○完了予定:令和4年1月頃

平面図



標準断面図



工事の考え方

・令和元年東日本台風の際、川裏法尻部において噴砂が確認されたことから、浸透対策工を実施。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。

東松山市田木地区堤防整備(越辺川左岸10.0k付近:東松山市田木地先)【環境】



河川環境情報データベース(<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>)の植生図データより作成。植生区分は植物群落リストの植生基本分類に基づき区分。



写真① 上流端より下流方向全景



写真② 下流端より上流方向全景

主な環境

- ・調査範囲内は、主に草地、樹林地で構成されている。
- ・草地は主に外来種のネズミムギや、カラスムギで構成される草本群落があり、在来種のヤブカンゾウやミコシガヤも生育している。河川敷には主にアカメヤナギやオニグルミが優占する落葉広葉樹林がある。

環境配慮事項

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施。
- ・工事施工範囲周辺では、ヤブカンゾウなどの在来種が生育しているため、工事施工時に踏み荒らし等しないよう施工業者と情報を共有する。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。

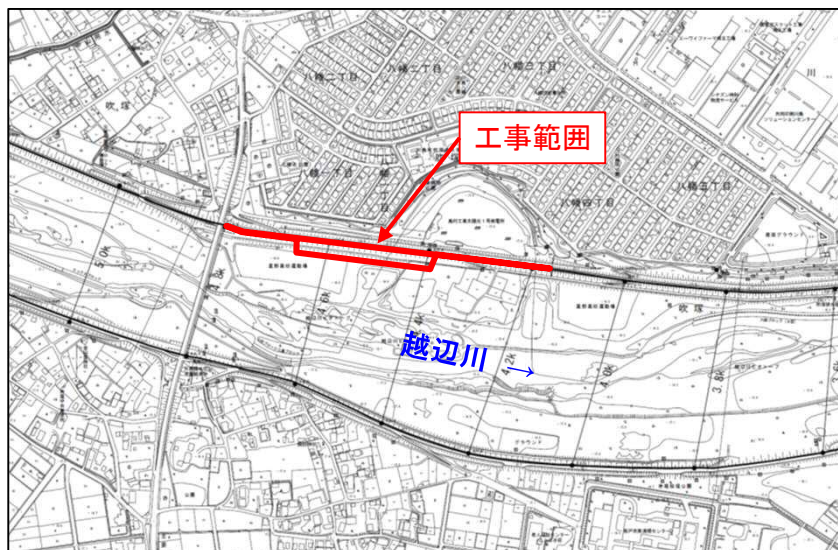
川島町八幡地区堤防整備(越辺川左岸4.6k付近:川島町八幡地先)【工事概要】

斜め写真

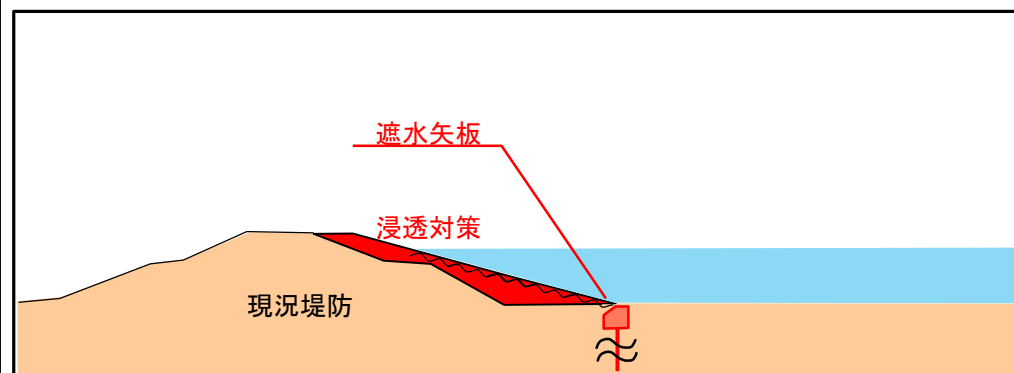


○着手予定:令和3年6月頃
○完了予定:令和4年1月頃

平面図



標準断面図



工事の考え方

・令和元年東日本台風の際、川裏法尻部において噴砂が確認されたことから、浸透対策工を実施。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。

川島町八幡地区堤防整備(越辺川左岸4.6k付近:川島町八幡地先)【環境】



河川環境情報データベース(<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>)の植生図データより作成。植生区分は植物群落リストの植生基本分類に基づき区分。



写真① 上流端より下流方向全景



写真② 下流端より上流方向全景

主な環境

- ・調査範囲内は、主に草地で構成されている。
- ・草地は主に外来種のネズミムギやカラシナなどで構成される草本群落があり、在来種のユウガギクも生育している。堤防敷にはゴマキも確認されている。

環境配慮事項

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施。
- ・堤防敷のゴマキについては、工事に伴い、必要以上に伐採等しないよう留意する。

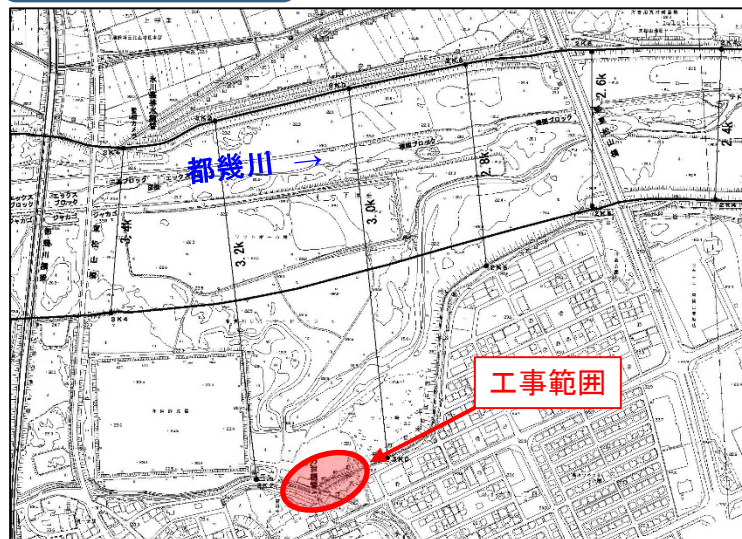
東松山市万世樋管改築(都幾川右岸3.1k付近:東松山市高坂地先)【工事概要】

斜め写真

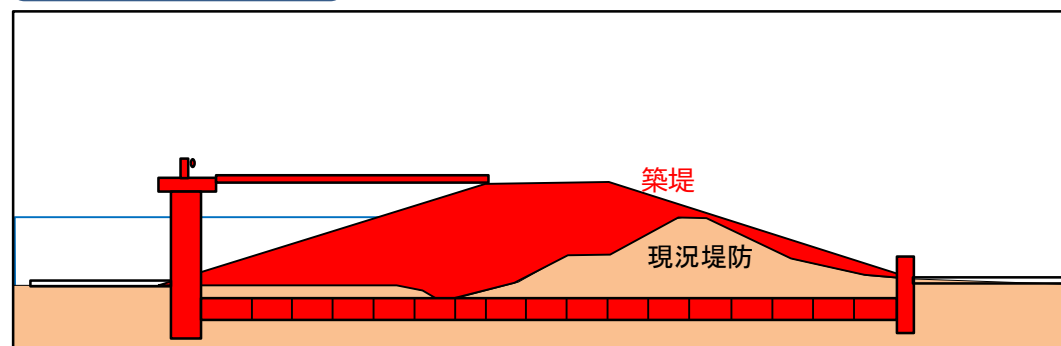


○着手予定:令和3年11月頃
○完了予定:令和5年 3月頃

平面図



標準断面図



工事の考え方

・堤防の高さと幅が不足する区間において、堤防整備と合わせて樋管の改築を実施。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。

東松山市万世樋管改築(都幾川右岸3.1k付近:東松山市高坂地先)【環境】

凡 例
 工事範囲



河川環境情報データベース(<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>)の植生図データより作成。植生区分は植物群落リストの植生基本分類に基づき区分。



写真① 万世樋管より堤外地方向



写真② 万世樋管より堤内地方向

主な環境

- ・調査範囲内は、主に草地と竹林で構成されている。
- ・草地は主に外来種のセイバンモロコシやカラシナなどで構成される草本群落があり、在来種のヤブカンゾウも確認されている。また、ヒメナガメやニホンカナヘビなどの小動物が確認されている。
- ・万世樋管周辺の湿った場所では希少植物も確認されている。

環境配慮事項

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施。
- ・工事施工範囲周辺では、周辺の溝で確認された希少種情報についても、工事施工時に踏み荒らし等しないよう施工業者と情報を共有する。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。

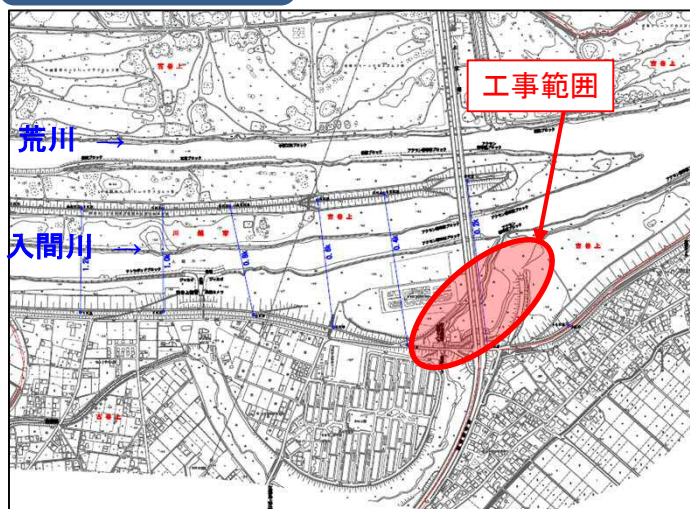
川越市古谷樋管改築(入間川右岸0.3k付近:川越市古谷地先)【工事概要】

斜め写真

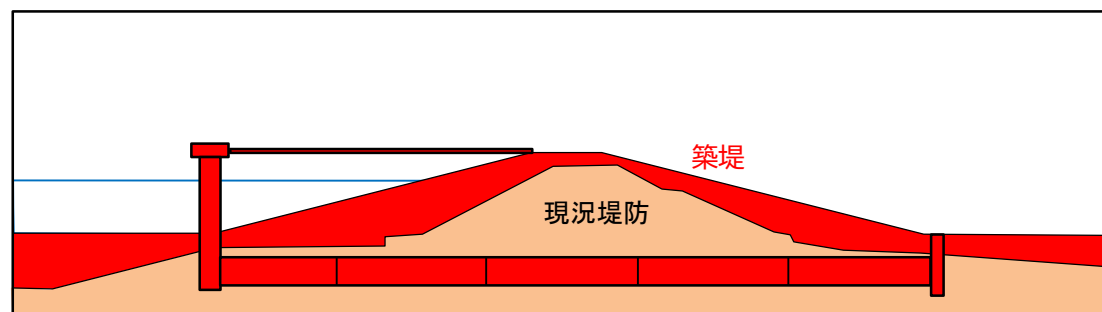


○着手予定:令和3年11月頃
○完了予定:令和6年3月頃

平面図



標準断面図

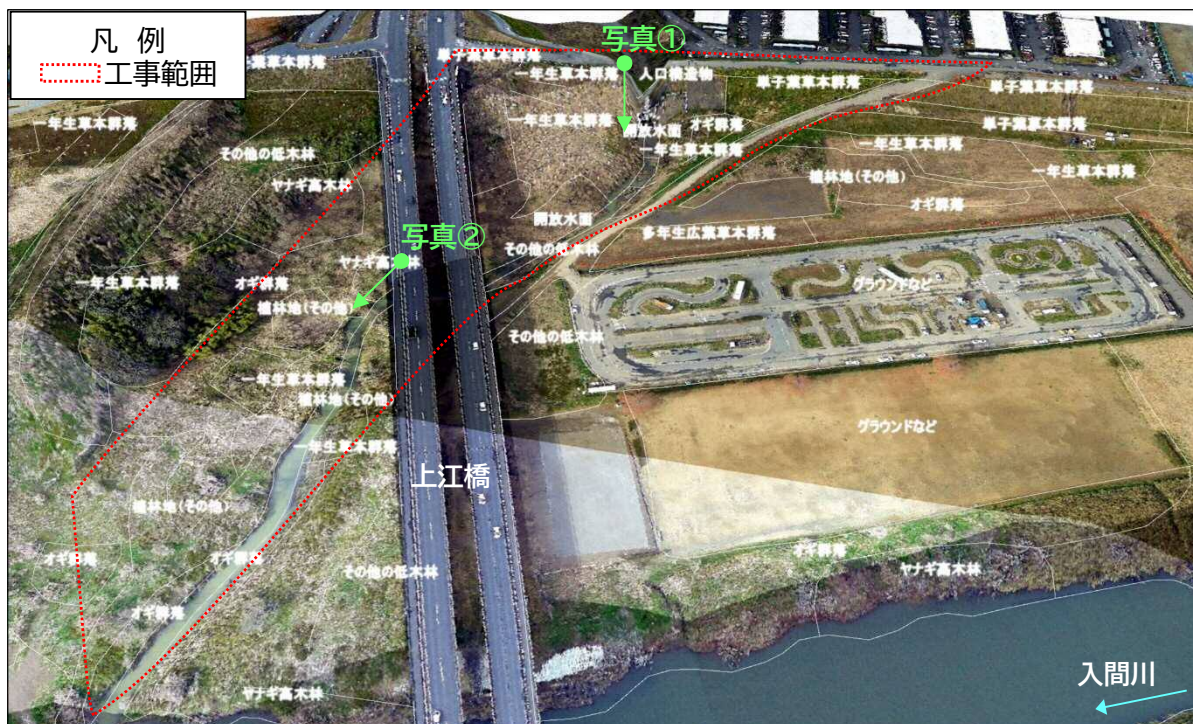


工事の考え方

・堤防の高さと幅が不足する区間において、堤防整備と合わせて樋管の改築を実施。また、多様な生物が生育・生息できる場の創出が期待できるよう緩流域の流路と緩傾斜の湿地を創出する基盤整備を実施。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。

川越市古谷樋管改築(入間川右岸0.3k付近:川越市古谷地先)【環境】



河川環境情報データベース(<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>)の植生図データより作成。植生区分は植物群落リストの植生基本分類に基づき区分。



写真① 古谷樋管より入間川方向



写真② 上江橋より入間川方向

主な環境

- ・調査範囲内は、主に草地で構成されている。
- ・草地は主にカナムグラ、クズなどの在来種が生育するカナムグラ群落、セイバンモロコシなどの外来種が生育する草本群落が広がり、ヤガミスゲなどの在来植物も確認されている。また、ハグロトンボやアオスジアゲハなどの昆虫類も生息している。
- ・堤防の草地に希少植物も確認されている。

環境配慮事項

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施。
- ・多様な生物が生育・生息できる緩流域、湿地の基盤整備を行い、堤防で確認された希少種については、基盤整備後の湿地に移植を行う。

※現時点の情報であり、今後、現地の状況等により変更の可能性があります。